


# Dell E2222HS

## Dellディスプレイマネージャー ユーザーガイド



モニターモデル: E2222HS  
規制モデル: E2222HSf

 **注意：注意は、コンピュータのより良い使用を助けるための重要な情報を示します。**

© 2021 Dell Inc. およびその子会社。無断転用禁止。

Dell、EMC および他の商標は、Dell Inc. およびその子会社の商標です。他の商標は、それぞれの所有者の商標です。

2021年7月

バージョン A00

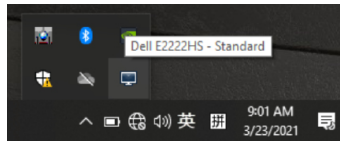
# 内容

概要.....	4
クイック設定ダイアログの使用 .....	5
ベーシックディスプレイ機能の設定 .....	7
アプリケーションへのプリセットモードの割り当て .....	8
イージーアレンジでウィンドウを整理する .....	9
複数ビデオ入力の管理.....	12
アプリケーションポジションの復元.....	14
DDMをアクティブウィンドウに装着する (Windows 10のみ) .	16
省エネルギー機能の適用 .....	17
その他のショートカットキー .....	17
トラブルシューティング .....	18

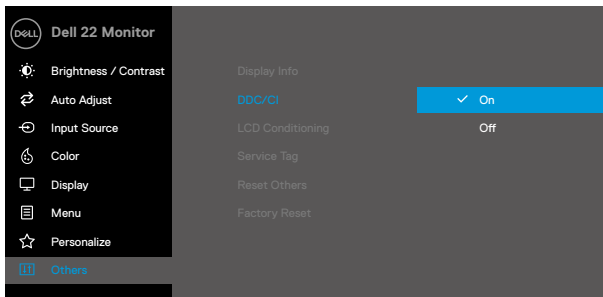


# 概要

Dell ディスプレイマネージャーは 1 台のモニターまたはモニターのグループを管理するために使う Microsoft Windows アプリケーションです。表示された画像の手動調整、自動設定の割り当て、エネルギー管理、ウィンドウの整理、画像の回転、選択した Dell モニターのその他の機能を有効にします。インストールすると、システム開始時に毎回 Dell ディスプレイマネージャー起動し、通知トレイにアイコン置かれます。この通知トレイアイコンの上にマウスを置くと、システムに接続されたモニターの情報が得られます。

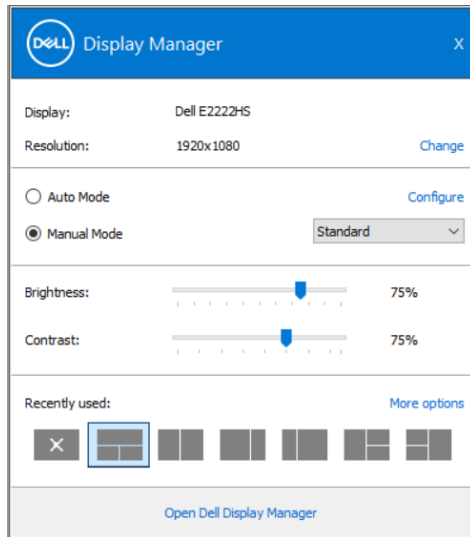


**注意:** Dell ディスプレイマネージャーは、モニターと通信するために、DDC/CIチャンネルを使用します。以下の通り、メニューでDDC/CIが有効になっていることを確認します。




# クイック設定ダイアログの使用

Dell ディスプレイマネージャーの通知トレイアイコンをクリックすると、**クイック設定**ダイアログボックスが開きます。2 台以上のサポートされた Dell モデルがコンピュータに接続されている場合、メニューを使用特定のターゲットモニターを選択できます。**クイック設定**ダイアログでは、モニターの明るさやコントラストを簡単に調整することができます。**マニュアルモード**と**オートモード**が選択でき、画面の解像度も変更できます。



**クイック設定**ダイアログボックスはまた、Dell ディスプレイマネージャーのアドバンスドユーザーインターフェイスへのアクセスを提供し、ベーシック機能の調整、オートモードの設定、その他機能へのアクセスに使用されます。



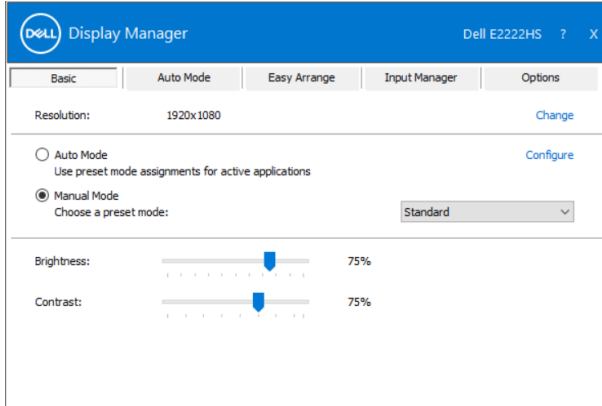
 **注意:**

特徴	機能	説明
DDMへのクイックアクセス	DDM UIを呼び出すクイックキー	<ul style="list-style-type: none"><li>• Ctrl+Shift+D</li><li>• ページアップ/ページダウンキーまたは「&gt;」をクリックすると、すべての<b>イーザーアレンジ</b>レイアウトが表示されます。</li></ul>
	マルチモニター環境下での各モニターの制御	<ul style="list-style-type: none"><li>• ドロップダウンボックスからモニターを選択すると、選択したモニターにはDellのロゴが表示されます。</li><li>• モニターのセルフテスト機能チェックを実行します。</li><li>• DDM UIを制御したいモニターに移動します。</li><li>• Ctrl+Shift+Dを押すと、マウスポインタの下にミニUIが表示されます。</li></ul>

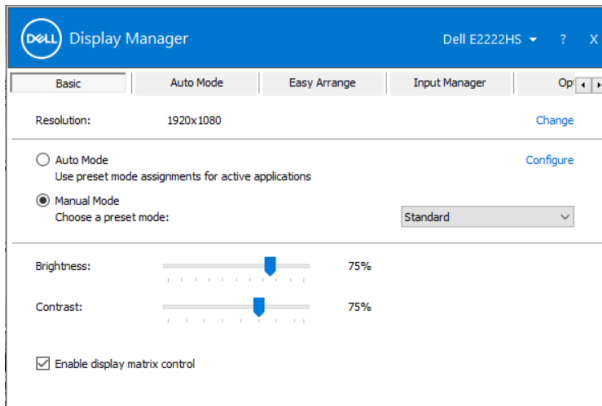


# ベーシックディスプレイ機能の設定

プリセットモードを手動で選択できる**マニュアルモード**と、アクティブなアプリケーションに応じてプリセットモードを適用する**オートモード**を選択できます。現在のプリセットモード変更の度に、画面上にメッセージが表示されます。選択されたモニターの**輝度**および**コントラスト**は、**ベーシックタブ**からも直接調整できます。



**注意:** 複数のDellモニターを接続している場合、「ディスプレイマトリクス制御を有効にする」を選択すると、すべてのモニターに輝度、コントラスト、色のプリセット制御が適用されます。



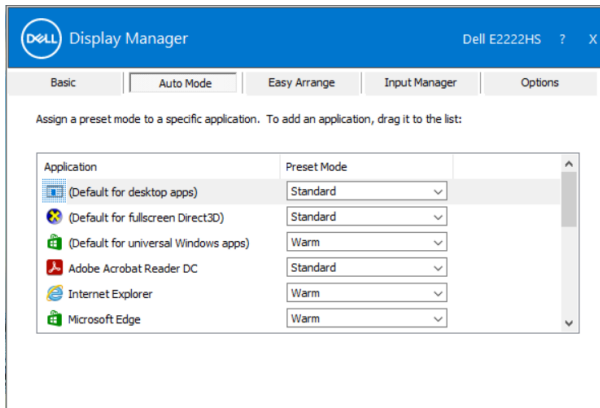
# アプリケーションへのプリセットモードの割り当て

オートモードタブでは、特定アプリケーションに特定のプリセットモードを割り当てて、自動的に適用することが可能です。オートモードが有効な場合、Dell ディスプレイマネージャーは関連するアプリケーションがアクティブであれば常に対応するプリセットモードに自動的に切り替わります。特定のアプリケーションに割り当てられたプリセットモードは、接続されているモニターすべてで同じ場合も、そのプリセットモードがモニターごとに1つずつ異なる場合もあります。

Dell ディスプレイマネージャーは多くの有名なアプリケーション用に事前設定されています。割り当てリストに新規アプリケーションを追加するには、デスクトップデスクトップ、Windows の [スタート] メニューまたは他のどこからかアプリケーションをドラッグして現在のリストの上にドロップします。

**注意:** バッチファイル、スクリプト、ローダー、およびzipアーカイブや圧縮されたファイルのような、非実行ファイルに対応するプリセットモード割り当てはサポートされていません。

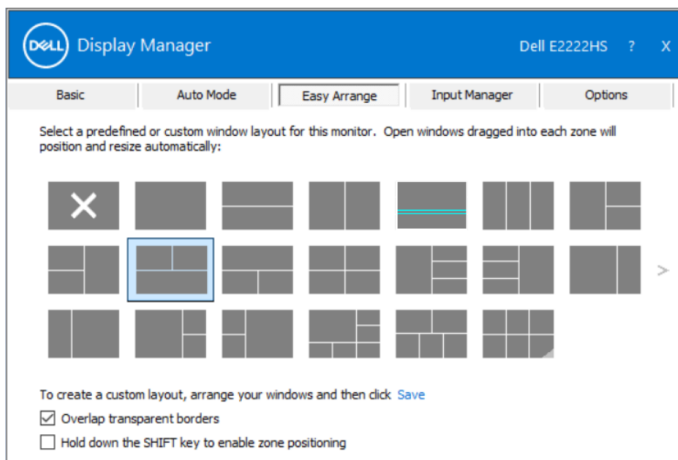
また、Direct3D アプリケーションがフルスクリーンモードで動作するときには使用されるゲームプリセットモードを設定することもできます。アプリケーションにモードを使わせないようにするには、別のプリセットモードを割り当ててください。





# イーザーレンジでウィンドウを整理する

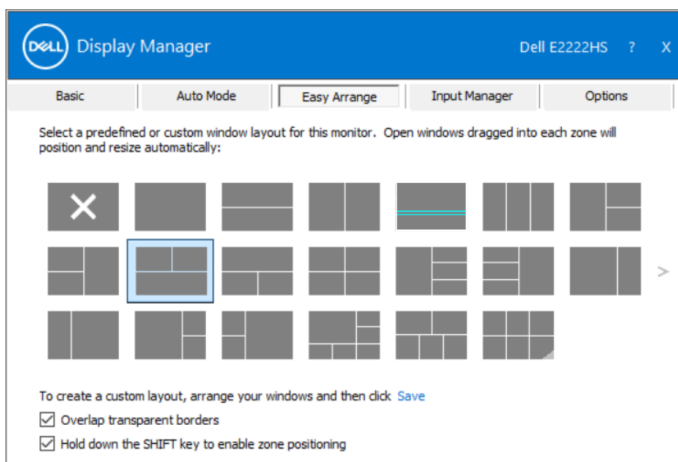
イーザーレンジは、デスクトップ上のアプリケーションウィンドウを効果的に整理するのに役立ちます。あらかじめ用意されたレイアウトパターンの中から作業に適したものを選び、アプリケーションウィンドウを定義されたゾーンにドラッグすれば完了です。「>」を押すか、ページアップ/ページダウンキーで他のレイアウトを探ることができます。カスタムレイアウトを作成するには、開いているウィンドウを配置してから**保存**をクリックします。



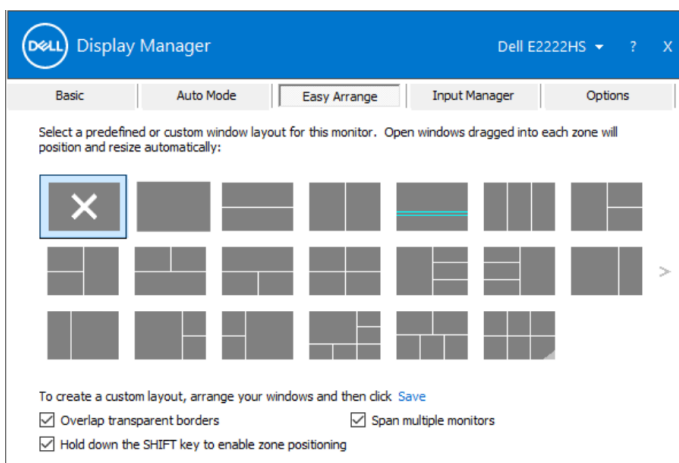
Windows 10 では、仮想デスクトップごとに異なるウィンドウレイアウトを適用することができます。

ウィンドウのスナップ機能をよく使う場合は、「**SHIFT キーを押しながらゾーンの位置決めを有効にする**」を選択してください。これにより、イーザーレンジよりもウィンドウスナップが優先されます。以降、イーザーレンジの位置決めを使用するには、Shift キーを押す必要があります。





複数のモニターをアレイやマトリックスで使用している場合、**イージーアレンジ**レイアウトをすべてのモニターに適用して、1つのデスクトップとして使用することができます。この機能を有効にするには、「**マルチモニターにする**」を選択します。モニターを効果的に使うためには、適切な位置に配置する必要があります。



**注意:** アプリケーションによっては、ウィンドウの最小有効解像度を要求するものがあります。イージーアレンジゾーンが必要なウィンドウサイズよりも小さい場合、アプリケーションがイージーアレンジゾーンに収まらないことがあります。



イーजीアレンジの使い方には、他にも高度な方法があります。以下の表をご参照ください。

特徴	機能	説明
イーजीアレンジの拡張機能	カスタムレイアウト	<ul style="list-style-type: none"><li>• カスタマイズした5つのイーजीアレンジパターンを保存し、名前を付けることができます。</li><li>• x*yパターンを設定します。</li></ul>
	5つのMRU(最近使用された)レイアウト	<ul style="list-style-type: none"><li>• Ctrl+Shift+Homeを押すと、過去5回のMRUレイアウトを循環させることができます。</li></ul>
オンザフライでのパーティションサイズ変更		<ul style="list-style-type: none"><li>• 現在のイーजीアレンジレイアウトのサイズを変更するときにCtrlを押しながら操作すると、レイアウト内のセルのサイズと数を調整できます。</li><li>• 新しく作成されたイーजीアレンジのパターンは、イーजीアレンジのアイコンの位置に保存されます。</li><li>• 変更したレイアウトのアイコンをCtrlキーを押しながらクリックすると、デフォルトのレイアウトに戻ります。</li></ul>

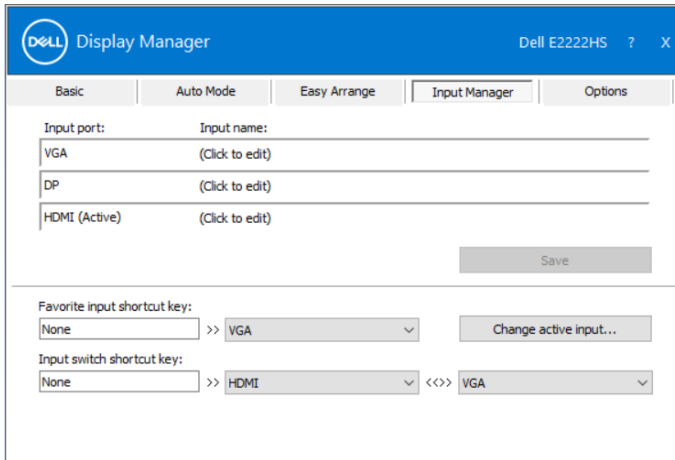


# 複数ビデオ入力の管理

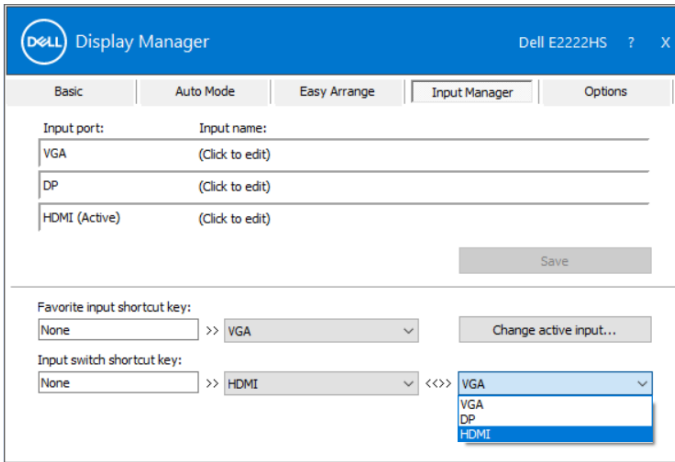
入力マネージャータブは、Dell モニターに接続された複数ビデオ入力を管理する便利な方法を提供します。複数台のコンピュータで作業する際、入力間の切り替えが非常に簡単になります。

モニターで利用可能なすべてのビデオ入力ポートが一覧表示されます。各入力に希望する名前を付けることができます。編集後は、変更を保存します。

お気に入りの入力に素早く切り替えるためにショートカットキーを定義したり、2つの入力を使って作業することが多い場合は、それらの入力間を素早く切り替えるために別なショートカットキーを定義したりすることができます。



利用可能な入力ソースの切り替えにドロップダウンリストを使用することができます。

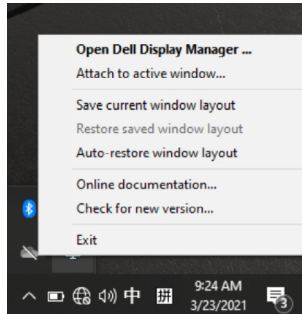


**注意:** DDMは、モニターが別なコンピュータからのビデオを表示している場合でも、モニターと通信します。よく使用するコンピュータにDDMをインストールし、そのPCからの入力切替を制御することができます。また、モニターに接続されている他のコンピュータにDDMをインストールすることができます。

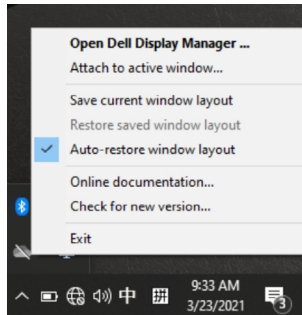


# アプリケーションポジションの復元

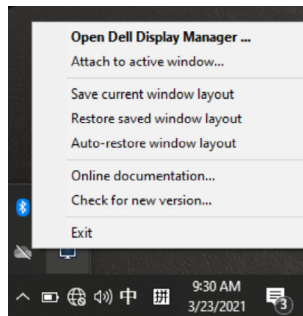
DDM では、コンピュータをモニターに再接続したときに、アプリケーションウィンドウを元の位置に戻すことができます。通知トレイの DDM アイコンを右クリックすると、この機能に素早くアクセスできます。



「ウィンドウレイアウトの自動復元」を選択すると、アプリケーションウィンドウの位置が DDM に記憶されます。DDM は、PC とモニターを再接続すると、アプリケーションウィンドウを自動的に元の位置に戻します。



アプリケーションのウィンドウを移動させた後に、お気に入りのレイアウトに戻りたい場合は、まず「現在のウィンドウレイアウトを保存する」を選択した後、「保存したウィンドウレイアウトを復元する」を選択します。



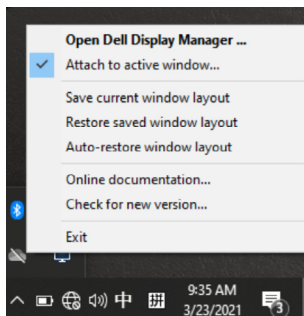
モデルや解像度の異なるモニターを日常的に使用したり、異なるウィンドウレイアウトを適用することがあるかもしれません。DDMは、再接続したモニターを把握し、それに合わせてアプリケーションの位置を復元することができます。モニターマトリクス構成でモニターを交換する必要がある場合、交換前のウィンドウレイアウトを保存し、新しいモニターを設置した後にレイアウトを復元することができます。

**注意:**この機能を利用するためには、アプリケーションを稼働させておく必要があります。DDMはアプリケーションを起動しません。

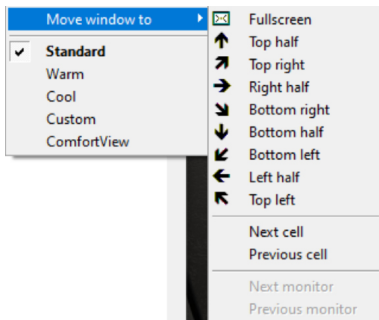


# DDM をアクティブウィンドウに装着する (Windows 10 のみ)

Windows 10 では、アクティブなウィンドウのツールバー領域に DDM のショートカットアイコンを追加することができます。この機能を有効にするには、通知トレイの DDM アイコンを右クリックし、開いたメニューから**アクティブなウィンドウに添付する**を選択します。



ツールバーのアイコンを右クリックすると、DDM のクイックメニューが表示され、**オートモード**や**イージーアレンジ**などのオプションが表示され、簡単に調整することができます。





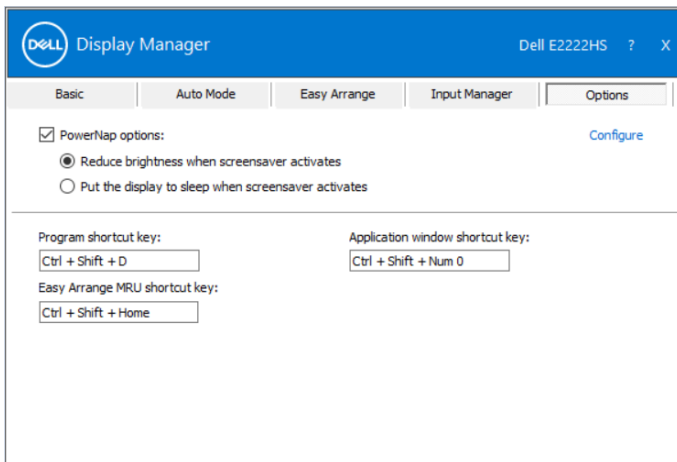
# 省エネルギー機能の適用

サポートされる Dell モデルでは、PowerNap 省エネルギーオプションを提供するために、オプションタブが利用できます。モニターの明るさを最小にしたり、スクリーンセーバー起動時にモニターをスリープ状態にすることができます。

## その他のショートカットキー

DDM の以下の機能に素早くアクセスするためのショートカットキーを定義することができます。

- **プログラムショートカットキー**:クイック設定ダイアログボックスを素早く開くことができます。
- **イージーアレンジ MRU ショートカットキー**:最近使用した 5 つのウィンドウレイアウトを素早く適用します。
- **アプリケーションウィンドウのショートカットキー**:オートモードとイージーアレンジのオプションのクイックメニューを起動します。



# トラブルシューティング

DDM が、ご利用のモニターで動作しない場合、DDM は、通知トレイに以下のアイコンを表示します。



このアイコンをクリックすると、DDM は、より詳細なエラーメッセージを表示します。



DDM は、Dell ブランドのモニターと共にのみ動作することに注意してください。他のメーカーのモニターをお使いの場合、DDM は、それらをサポートしません。

DDM が、サポートされる Dell モニターを検出および/または通信できない場合は、トラブルシューティングを行うため、以下の操作を行ってください。

1. モニターとコンピュータの間にビデオケーブルが正しく接続されているか確認してください。コネクタが所定の位置にしっかりと挿入されていることを確認してください。
2. モニターの OSD をチェックし、DDC/CI が有効になっていることを確認してください。
3. ベンダー (Intel、AMD、NVidia など) から、正しい最新のディスプレイドライバを取得してください。多くの場合、グラフィックスドライバが、DDM の故障を引き起こします。
4. モニターのグラフィックスポート間のドッキングステーション、ケーブルエクステンダーおよびコンバーターを取り外してください。一部の低コストエクステンダー、ハブまたはコンバーターは、DDC/CI を適切にサポートしておらず、DDM の障害を引き起こす可能性があります。最新バージョンが利用可能な場合、デバイスのドライバを更新してください。
5. コンピュータを再起動してください。



DDM は、以下のモニターでは動作しない可能性があります：

- 2013 年以前に出荷された Dell モニターおよび Dell モニターの D シリーズ。  
詳しくは、[www.dell.com/support/monitors](http://www.dell.com/support/monitors) をご覧ください。
- Nvidia-based G-sync 技術を用いるゲーミングモニター。
- 仮想ディスプレイおよびワイヤレスディスプレイは、DDC/CI をサポートしません。
- DP 1.2 モニターの一部の初期モデルでは、モニター OSD を使って、MST/DP 1.2 を無効化することが必要となる場合があります。

コンピュータをインターネットに接続している場合、DDM アプリケーションの新しいバージョンが利用可能になったとき、メッセージがプロンプト表示されます。最新の DDM アプリケーションをダウンロード・インストールすることを推奨します。また、「SHIFT」キーを押しながら、DDM アイコンを右クリックすることで、新しいバージョンをチェックすることができます。

